

名古屋市工業研究所

地域の中小企業をサポート

今月訪れたのは、名古屋市工業研究所です。

名古屋市工業研究所は昭和12年7月に設立以来、70年以上名古屋市地区の企業の発展の為に、寄与している公設試験研究機関です。

地域の企業の方々のお役に立つ為に、競輪補助事業がサポートし、多くの検査、試験機器が名古屋市工業研究所に導入されています。中小企業では、自前で測定装置、検査機器を持つ事が資金的に出来ない場合が多いので、公設試験所に依頼し、検査測定をし、製品の品質向上や、製品不良の原因究明に役立っているのです。

所長の濱田幸弘氏に施設の説明を頂いたところ、「名古屋市工業研究所は3つの分野に分かれていて、機械・金属、



所長の濱田幸弘氏

材料・化学、電子・情報の分野で地元中小企業の技術開発、製品開発、また試験、研究のサポートをし、更に、中小企業の技術向上の為にセミナーも開き、技術の発展向上に寄与しています。産業技術図書館も併設し、地元の中企業の方々に広く利用されています」とお答えいただきました。

さて今回、見学をしていただいた選手は、新しく愛知の支部長になった一丸安貴選手です。

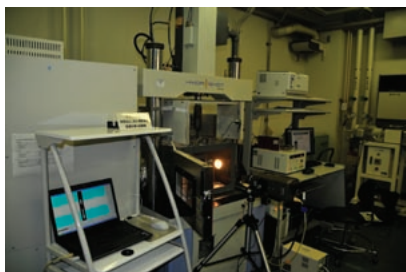
初めに見学した競輪補助事業で導入された機器は、「高速引張り試験機。名前の通り、材料片を高速で引張るものです。その引張られた時の伸びや、切断時に於ける力を計測します。現在、自動車を始め、あらゆるものがコンピュータのシミュレーションを使って、強度計算されていますが、このシミュレーションをするにも、材料の強度をインプットしなければなりません。材料片をこの試験機に掛け、強度の計測によって得たデータをを用いたシミュレーションから、正確な値が導かれます。また、この装置は、他の公設試験所でもあまり導入されていないものと、説明を受けました。

次に、「衝撃圧縮試験機」の説明を受けました。この装置は、落下するおもりの重さとスピードを変えて、色々な衝撃を計測対象物に与え、その変形を測定出来るという装置です。またその様子を高速ビデオカメラで撮影出来ると同時に、温

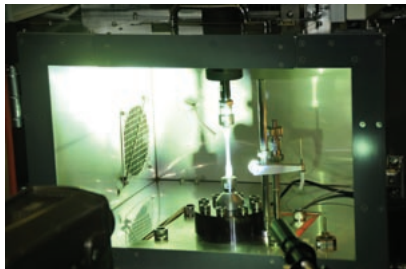
度をマイナス40度から180度まで変えられるので、実際に即した形で計測出来るという事でした。
今回見学させていただいた機器は設置されている機器の一部で、多くの企業がこの研究所に来て、色々な検査、試験をし、製品の研究開発をしている事が理解出来ました。
一丸選手のインタビューは32ページに掲載されています。



名古屋市工業研究所
名古屋市熱田区六番三丁目4番41号



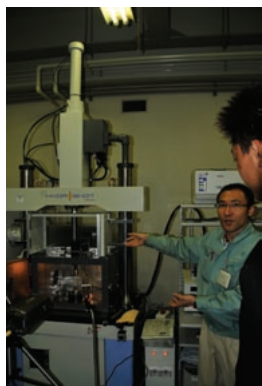
高速引張り試験機の全体



材料片を引張る。この後、破断する。



一丸安貴選手



高速引張り試験機



衝撃圧縮試験機



缶が潰れる